

④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆衣浦港務所にて打合せを行い、県及び市実施工事の発注内容について調整を行った。	H27.4～ H28.3	—
	◆上部利用についてのワークショップを実施して、多目的広場の利用について意見を聴取した。 (検討項目) 野球用のバックネット、観覧席、夜間利用の照明設備、散水設備、ジョギングコース、手洗い場等	H27.9	(主な参加者) まち協、町内会、 渡し場かもめ会、 たかはまスポーツクラブ等 参加者 12 名
	◆上部利用についてのワークショップを若者対象に実施。若者やこども視点の利用について意見を聴取した。	H27.12	参加者 23 名
	◆敷地内設置のトイレ設計について、地域団体（渡し場かもめ会）から意見を聴取した。	H28.1	—
	◆ワークショップでの意見を取り入れながら詳細設計を行った。	H27.4～ H28.3	詳細設計完成
参画・協働・ 情報共有の工夫	★ワークショップを実施し、(仮称) 高浜緑地整備の情報を提供するとともに、利用者視点での意見を、町内会やスポーツ関係団体等の参加者や、若者(40歳まで)からうかがった。		
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、順調に進めることができた。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆ ワークショップの開催により、利用者視点での意見を得ることができた。		
	☆ ワークショップの内容を踏まえつつ、県との調整を進めることができた。		

⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
(1) 工事発注の計画について ・多目的広場の暫定利用に向けて、引き続き県と調整をしていく必要がある。	・県に造成工事の早期実現を働きかけるとともに、担当者として引き続き連絡調整を行い、市工事を発注していく。
(2) 多目的広場の管理運営について ・暫定利用が開始する前に、広場の管理運営について確定していく必要がある。	・具体的な利用を想定しながらワークショップで意見を聞きとるとともに、その内容をもとに県担当者と協議していく。

⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆県との事前協議の結果をふまえて、県工事と調整しながら、多目的広場上部整備の一部について工事を発注する。	H28.11
	◆整備工事の具体的な実施計画について、衣浦港務所との協議を行う。	H29.3
	◆管理運営についてのワークショップを関係団体を交えて実施する。	H29.3
	◆(仮称) 高浜緑地の多目的広場に係る条例等の整備について検討を行う。	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆工事実施の計画が確定した段階で、ワークショップや町内会や関係団体に随時広報をして、情報共有に努める。	
	☆広報を行う際には、資料にイメージ図を活用する等、計画内容を分かりやすく伝える。	

特記事項

県造成工事の進捗状況に応じて、市上部工事の発注を進めていく。